

### 第3節 地域まちづくり課

#### 〔総括概要〕

地域まちづくり課の主な分掌事務は、地域自治の推進、地域自治区の連絡及び調整、自治会との連絡調整、地域のまちづくり、市民活動の推進である。

地域自治の推進については、現在の地域自治区制度が平成27年3月31日で終了することから、栃木市地域自治制度検討委員会からの報告に基づき、栃木市新たな地域自治制度基本構想をとりまとめた。また、基本構想に基づき、栃木市地域づくり推進条例等の法整備を行い、新たな地域自治制度に向けての調整を行った。

地域自治区の連絡及び調整関係については、栃木市地域自治区地域協議会連絡会を開催し、地域協議会の活動等に関する連絡調整等を行った。

栃木地域のまちづくり関係については、平成25年度に引き続き、栃木市栃木地域まちづくり検討委員会により、栃木地域の資源や特性を活かしたまちづくりを推進するための調査研究を行った。

自治会については、平成25年5月に発足した栃木市自治会連合会の事務局として、自治会運営の円滑化を図った。また、平成26年5月には岩舟地域が加わり、各地域における自治会連合組織の強化を図った。

市民活動の推進については、市民活動推進の拠点であるとちぎ市民活動推進センター「くらら」において、市民活動に関する相談や情報の収集・提供及びボランティア団体の交流促進等を行うとともに、庁内における市民との協働を推進するため、全課に市民協働推進員を設置し、研修会等を開催した。

また、市民団体の主体的、公益的な市民活動を支援することを目的に、市民協働まちづくりファンド(基金)を設け、NPO団体を始めとする市民活動団体等の自立及び活性化をさらに促進するため、市民活動推進補助金“とちぎ夢ファーレ”事業を実施した。

さらに、市民自らが毎年テーマを掲げ、企画運営する「とちぎ協働まつり」を、実行委員会との共催により開催した。

また、NPO団体や企業、行政等が協働し、地域課題の解決に取り組む地域版プラットフォーム事業として、新市の一体感の醸成事業を実施した。

#### まちづくり担当

#### 1 地域自治の推進

##### (1) 栃木市地域自治制度検討委員会

合併に伴い導入した地域自治区制度が平成27年3月31日をもって終了することから、その後の新たな地域自治制度の構築に関する事項を検討するため、栃木市地域自治制度検討委員会を設置した。

- ・任 期 平成24年8月7日～平成27年3月31日
- ・委 員 数 16人

- ・委員長 児玉博昭（白鷗大学法学部教授）
- ・副委員長 田中久己（藤岡町地域協議会会長）
- ・会議開催状況

（第1回～第4回は平成24年度、第5回～第8回は平成25年度に実施済み）

第9回 8月5日（火）

- ・地域自治制度基本構想説明会の結果について
- ・地域づくり推進条例（案）等について

(2) 栃木市地域自治制度検討部会

栃木市地域自治制度検討委員会において新たな地域自治制度の構築に関する事項を検討するに当たり、地域自治制度に関する調査研究及び検討を行うため、栃木市地域自治制度検討部会を設置した。

- ・委員数 18人
- ・部会長 赤羽根正夫（総合政策部長）
- ・副部会長 松本俊（総務部長）
- ・会議開催状況

（第1回～第10回は平成24年度、第11回～第16回は平成25年度に実施済み）

第17回 5月23日（金）

(3) 新たな地域自治制度基本構想説明会

平成27年度から実施を予定している新たな地域自治制度について、広く市民への周知を図り、地域のまちづくりに対して市民の理解と協力を得ることを目的に説明会を開催した。

- ・開催期間 6月18日（水）～7月1日（火）
- ・各地域開催日程

	会 場
6月18日（水）	西方公民館 2階会議室
6月19日（木）	都賀公民館 2階研修室
6月20日（金）	吹上公民館 1階大交流室
6月24日（火）	国府公民館 1階大交流室
6月25日（水）	栃木市役所正庁 AB
6月26日（木）	大平公民館 1階視聴覚室
6月27日（金）	藤岡公民館 3階大会議室
7月1日（火）	岩舟公民館 2階講義室

2 地域自治区の連絡及び調整

(1) 栃木市地域自治区地域協議会連絡会

各地域協議会の正副会長及び地域自治区長を構成員とする栃木市地域自治区地域協議会連絡会により、地域協議会の活動等に関する調整及び連絡を行った。

会 長	和賀井政雄（西方町地域協議会会長）
副会長	渡辺 仁一（岩舟町地域協議会会長）
副会長	柴田 保男（大平町地域協議会会長）
副会長	田中 久己（藤岡町地域協議会会長）
副会長	三室 一男（都賀町地域協議会会長）

(2) 栃木市地域自治交流会

地域協議会及び栃木地域まちづくり検討委員会間の情報共有化と地域間の交流を促進し、地域のまちづくり活動の活性化を図るため、栃木市地域自治区地域協議会連絡会及び栃木市栃木地域まちづくり検討委員会の共催による地域自治交流会を実施した。

- ・実施日 9月6日（土）
- ・会 場 西方総合文化体育館
- ・参加者 地域協議会及び栃木地域まちづくり検討委員会委員 60人
- ・内 容 平成26年度意見書の提出  
委員同士の意見交換及び発表  
（意見交換テーマ）
  - ・「地域の力」を活用した子育て支援について
  - ・安心・安全な地域づくりについて
  - ・地域自治の取り組みと現実的な地域自治システムの構築について
  - ・コミュニティ放送局の開設について
  - ・様々な世代が住みやすいまち、みんなが集まれるまちづくりについて
  - ・全職員と全市民とのコミュニケーションの機会について

(3) 地域協議会委員選任に関する事務

平成26年4月5日の岩舟町との合併に伴い、岩舟町地域協議会を設置する運びとなったことから、平成26年5月26日から平成27年3月31日までを任期とする地域協議会委員に対する委嘱状交付式を実施し、委嘱状交付、市長あいさつ及び地域自治制度に関する説明等を行った。

- ・期日 5月26日（月）
- ・会場 岩舟公民館 講義室

(4) 地域協議会等から提出された意見書の処理

地域協議会及び栃木地域まちづくり検討委員会から提出された意見書に関して、関係部局間で連携を図りながら回答書を作成し、地域協議会等へ送付した。

ア 意見書提出日 9月6日（土）

イ 意見書の件数及び事項

(ア) 大平町地域協議会 5件

- ・子どもの視点にたった『安心・安全なまちづくり』について
- ・高齢者対策について
- ・太平山南山麓エリアの振興について
- ・教育現場における問題点について
- ・地域防災力の強化について

- (イ) 藤岡町地域協議会 5件
    - ・小中学校トイレの洋式化について
    - ・防災対策について
    - ・高齢者に寄り添う地域包括ケアシステムの構築について
    - ・渡良瀬遊水地への来訪者の受入体制について
    - ・平成34年第77回栃木国体ボート競技招致について
  - (ウ) 都賀町地域協議会 3件
    - ・つがの里を拠点とした健康ウォーキングロード（仮称）の整備について
    - ・栃木市出身及びゆかりのある偉人の功績を紹介する偉人館の建設について
    - ・消防団員の確保について
  - (エ) 西方町地域協議会 3件
    - ・観光促進のための基盤整備について
    - ・複合的な健康福祉センターの整備について
    - ・消防団員の確保について
  - (オ) 岩舟町地域協議会 9件
    - ・通学路の安全対策について
    - ・獣害対策について
    - ・三轟山を中心とした観光振興について
    - ・岩舟駅・静和駅周辺の開発について
    - ・岩藤大規模開発について
    - ・認知症対策の個別支援策について
    - ・子どもの居場所の整備について
    - ・図書室の充実について
    - ・消防団員の確保について
  - (カ) 栃木市栃木地域まちづくり検討委員会 5件
    - ・栃木市美術博物館の設置について
    - ・鹿・猪の侵入防止のための防護柵の設置について
    - ・ファミリー・サポート・センターの利用促進等について
    - ・学校の適正配置について
    - ・市民プールの復活について
- (5) 地域協議会及び栃木地域まちづくり検討委員会委員感謝状贈呈式  
 地域協議会及び栃木地域まちづくり検討委員会が、平成27年3月31日をもってその設置期限を迎えることに伴い、これまでの功労に謝意を示すため、地域協議会及び栃木地域まちづくり検討委員会に関わられた方全員に市長から感謝状を贈呈した。
- ・実施日 3月16日（月）
  - ・会場 栃木保健福祉センター 2階 大会議室
  - ・当日出席者数 96人（全対象者数152名）
- (6) 平成26年度栃木市地域まちづくり講演会  
 前記の感謝状贈呈式の終了後、人口減少時代に即したまちづくりの考え方や、人と人とのつながり方、若い人を地域づくりに取り込むためのアイディアの事例等、今後の

栃木市のまちづくりに大いに参考となる講演会を開催した。

- ・実施日 3月16日(月)
- ・会場 栃木保健福祉センター 2階 大会議室
- ・出席者数 96人
- ・構成 講師 山崎亮(studio-L 代表)  
演題 「まち」の未来は自分たちでつくる  
～コミュニティデザインで広がる地域の可能性～

### 3 栃木市栃木地域まちづくり検討委員会

栃木地域のまちづくりの課題について調査研究し、市に対して意見を述べることにより、栃木地域の資源や特性を活かしたまちづくりを推進するため、栃木市栃木地域まちづくり検討委員会を設置した。

- ・任期 平成24年4月18日～平成27年3月31日
- ・委員数 30人
- ・委員長 内藤弘司
- ・副委員長 岸 貞吉
- ・会議開催状況 第1回 5月2日(金)  
第2回 5月26日(月)  
第3回 6月23日(月)  
第4回 7月28日(月)  
第5回 8月25日(月)  
第6回 10月31日(金)  
第7回 1月26日(月)  
第8回 3月23日(月)
- ・先進地視察 実施日 10月10日(金)  
視察地 日光市・宇都宮市  
テーマ 「WATARASE Art Project について」  
「もみじ通り商店街の再生について」
- ・意見書の提出 栃木市美術博物館の設置について  
鹿・猪の侵入防止のための防護柵の設置について  
ファミリー・サポート・センターの利用促進等について  
学校の適正配置について  
市民プールの復活について

### 4 自治会関係

市全域の自治会相互の連絡調整を図り、地域間の情報を交換するとともに、自治会組織の強化を図るため、栃木市自治会連合会の事務局として、地域住民の福祉の向上に寄与することを目的とした各種活動を助成し、市政への協力を得るための連絡を行うとともに、栃木地域においてはまちづくり懇談会を支援した。

#### (1) 自治会活動の推進

ア 単位自治会の把握

次年度自治会長名簿の取りまとめ

- ・期 間 平成 27 年 2 月～5 月
- ・対 象 173 自治会（栃木地域）

イ 自治会報償金の支出

- ・各単位自治会の世帯数調査（基準日 4 月 1 日現在）
- ・報償金の支出  
2 月 25 日 支払い 473 件

(2) 栃木市自治会連合会（事務局）

ア 組織構成

- ・組 織 市内全地域の 17 地区、473 単位自治会が加入
- ・役 員 会長 1 人、副会長 4 人、会計 2 人、監事 2 人、理事 18 人  
(総会にて決定、任期 2 年)

イ 会議等

(7) 設立総会・自治会功労者表彰式

- ・実施日 5 月 22 日（木）
- ・会 場 栃木文化会館
- ・出席者 274 人
- ・内 容 栃木市自治会連合会通常総会 議事  
功労者表彰式（特別功労者表彰 6 人、功労者表彰 16 人）

(イ) 役員会

第 1 回	4 月 30 日（水）	・功労者表彰について ・役員を選任（変更）について
第 2 回	7 月 2 日（水）	・広報紙等の回覧方法について ・まちづくり懇親会ふれあいトークについて
第 3 回	10 月 6 日（月）	・老人クラブの加入促進について ・自治会長交流会（自治会長研修会）について ・役員視察研修会について
第 4 回	11 月 25 日（火）	・まちづくり懇親会ふれあいトークについて ・自治会長交流会（講演会等）について
第 5 回	2 月 9 日（月）	・功労者表彰について ・旅費支給規定の見直しについて
第 6 回	3 月 26 日（木）	・功労者表彰受賞者の決定について ・平成 27 年度収支予算について ・平成 27 年度行事予定について

(ウ) まちづくり懇談会（栃木地域）

開催日	会場
8 月 1 日（金）	第 5 地区コミュニティセンター（栃木第 1・5 地区）
8 月 4 日（月）	皆川公民館（皆川地区）

8月7日(木)	寺尾公民館(吹上・寺尾地区)
8月18日(月)	第6地区コミュニティセンター(栃木第6・7地区)
8月19日(火)	第4地区コミュニティセンター(栃木第2・3・4地区)
8月20日(水)	国府公民館(大宮・国府地区)

(エ) 役員視察研修

- ・実施日 10月20日(月)、21日(火)
- ・視察地 新潟県小千谷市、十日町市
- ・内容 研修
  - ・「災害に負けない地域づくり」
  - ・十日町西部地区振興会活動事例
- ・出席者 自治会連合会役員17人

(オ) 栃木県自治会連合会事業への参加

- ・参加事業 正副会長会議(宇都宮市東市民活動センター)  
先進都市視察研修(群馬県日立市)  
会長研修大会(茂木町ツインリンクもてぎ)  
県南ブロック会議(佐野市どまんなかたぬま)

(カ) 新春賀詞交歓会

- ・実施日 1月7日(水)
- ・会場 サンプラザ
- ・主催団体 当連合会、市、市議会、商工会議所、下野農業協同組合  
ほか5団体

市民協働推進担当

1 市民活動の推進

市民による営利を目的としない社会貢献活動を支援するため、次の事業を行った。

(1) 市民活動推進センター

とちぎ市民活動推進センター「くらら」の管理運営を、指定管理者制度により特定非営利活動法人ハイジに委託し、市民活動に関する相談や情報の収集・提供及びボランティア団体の交流促進等を実施した。

ア 登録数

- ・団体 243団体

イ 運営委員会の開催

実施日	場所	出席者(人)
3月11日(水)	市民活動推進センター	8

ウ 利用状況

来館者(人)	会議室使用		作業室使用(人)	相談件数(件)	印刷回数(回)
	団体数	人数			
16,846	527	5,495	1,551	356	715

エ ホームページ閲覧 6,885 件  
 オ 情報紙発行 毎月 2,000 部発行  
 カ 広報とちぎ（4月号）へ情報紙折込み 全戸配布

(2) 特定非営利活動法人の認証等

栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例に基づき、平成 19 年度から権限移譲を受け、特定非営利活動促進法及び県の特定非営利活動促進法施行条例に基づく特定非営利活動法人の設立、解散または合併の認証等の事務を行っている。

取扱件数 (単位：件)

設立	解散	定款変更	役員変更受付	事業報告書等受付
1	3	5	10	35

(3) 市民協働推進員の設置及び研修会等の開催

庁内における市民との協働を推進するため、各課に市民協働推進員を設置するとともに、行政と市民との協働に関する意識の更なる向上を目指し、研修会等を開催した。

協働推進研修会

対象者	実施日	場所	出席者（人）
職員	5月20日（火）	大平公民館	80
市民・職員	2月10日（火）	国府公民館	64

(4) 市民活動支援事業

NPO団体を始めとする市民活動団体等の自立及び活性化をさらに促進するため、市民協働まちづくりファンド（基金）を設け、主体的・公益的な活動を行う市民団体に市民活動推進事業費補助金“とちぎ夢ファーレ”事業により活動経費の一部を助成した。

- ・助成団体数 30 団体
- ・助成総額 5,945,000 円
- ・寄附件数 127 件（内、123 件はふるさと応援寄附より）

ファンド（基金）への積立て

種別	金額（円）	備考
市民・企業からの寄附金	4,245,000	内 2,745,000 円はふるさと応援寄附より
積立金利息	1,168	
合計	4,246,168	

(5) とちぎ協働まつり

「みんなで作る明るい豊かなまちづくり」を理念として、協働の活性化・推進を目的に、さまざまな市民が集い、毎年テーマを掲げ、市民自ら作り上げていくイベントとして、「とちぎ協働まつり 2014」を、とちぎ協働まつり実行委員会との共催により開催した。

- ・実施日 10月26日（日）
- ・会場 総合運動公園
- ・テーマ この一歩、みんなと
- ・来場者 22,000 人

## 2 市民総合賠償補償保険制度の実施

市民総合賠償補償保険制度とは、市が所有、使用、管理する施設の瑕疵及び市の業務遂行上の過失に起因する法律上の損害賠償責任を負う場合の損害を総合的に補てんする賠償責任保険並びに市が主催する行事等に参加している住民の急激かつ偶然な外来の事故について、法律上の損害賠償責任の有無に関係なく、市が支払う補償金（見舞金）を補てんする補償保険により構成されている制度であり、全国市長会が加入市を被保険者とする団体保険契約を損害保険会社と締結して実施した。

保険の種類	支払件数(件)	支払金額(円)
損害賠償請求	3	617,927
補償金	1	75,000

## 3 市民活動補償制度の実施

市民活動補償制度とは、栃木市民で市民により自主的に構成された市民団体やその指導者が行う地域住民活動、青少年育成活動、社会福祉・社会奉仕活動、社会教育活動等で、本来の職場を離れて基本的に無報酬で行う継続的、計画的及び臨時的な実践活動中の事故について、指導者が賠償責任を負う場合の損害を補てんする賠償責任保険並びに指導者等や参加者が活動中に発生した急激かつ偶然な外来の事故について補償するために、市が保険会社と傷害保険を締結し実施した。

保険の種類	支払件数(件)	支払金額(円)
損害賠償請求	—	—
補償金	2	182,000

## 4 地域版プラットフォーム事業

NPO等（NPO法人、ボランティア団体、公益法人、社会福祉法人、学校法人、地縁組織、協同組合等）、企業、行政を含むメンバーでプラットフォームを構成し次の事業を実施した。

### (1) 新市の一体感の醸成事業

合併後の新市において、多くの市民にそれぞれの地域の魅力を知ってもらうため、各地域を訪れて地域資源の再発見をする事業及び小学生を対象に市の良さを知り発信する人材を育てる事業を実施した。

#### ア 栃木のとちぎ交流事業

コース	実施日	テーマ等	参加者数(人)
第1回【都賀・西方】	5月23日(金)	各地域の資源を再発見	26
第2回【藤岡・岩舟】	8月22日(金)	各地域の資源を再発見	18
第3回【栃木・大平】	11月4日(火)	各地域の資源を再発見	17

#### イ めがせ！とちぎふるさと子ども観光大使事業

コース	実施日	内容	参加者数(人)
第1回【都賀地域】	6月20日(金)	都賀の蛍を見てみよう	小学生 27

第2回【大平地域】	9月13日(土)	ぶどう狩り体験	小学生 24
第3回【西方地域】	10月4日(土)	西方の民話とそばうち体験	小学生 32
第4回【藤岡地域】	11月15日(土)	藤岡の伝統工芸品・新波の提灯作り	小学生 24
第5回【岩舟地域】	11月29日(土)	岩舟と円仁を学ぶ座禅体験	小学生 17
第6回【栃木地域】	12月13日(土)	蔵の街栃木の和菓子作り体験	小学生 27
第7回【認定式】	1月24日(土)	とちぎふるさと子ども観光大使神明宮 教室及び認定証授与式	小学生 37 (認定者:37)